



2019年5月14日

各位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション
 代表者 代表取締役社長 小林敬幸
 (コード番号 8119)
 問合せ先責任者 財務部長 小平敏之
 (TEL 03-3847-3500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年10月26日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,000	850	850	400	170.60
今回修正予想 (B)	42,513	752	827	195	82.99
増減額 (B-A)	△1,486	△97	△22	△204	
増減率 (%)	△3.4	△11.5	△2.7	△51.0	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	44,692	1,683	1,832	832	348.47

(2) 2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,000	350	△20	△8.53
今回修正予想 (B)	23,722	349	△127	△53.90
増減額 (B-A)	722	△0	△107	
増減率 (%)	3.1	△0.0	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	22,166	1,221	610	255.45

2. 修正の理由

連結業績予想の修正理由

連結業績では、ブランド事業の販売子会社が販売不振により繰延税金資産の一部を取り崩したことや中国の海外子会社の業績が堅調に推移したことなど法人税等が見込みより増加したことから親会社株主に帰属する当期純利益について予想を下回る見込みとなりました。

個別業績予想の修正理由

個別業績では、OEM事業、ブランド事業ともに売上高は増加したものの売上総利益率の低下により経常利益はほぼ見込みどおりとなりました。当期純利益については、業績が好調な特定外国子会社の合算課税などにより法人税等の負担が増加したことから、予想を下回る見込みとなりました。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な要因により実際の業績は異なる結果となることがあります。

以上